

自由民主党議員団代表質問

徳永 春男 議員

# 財政健全化を図り 石炭産業にかわる新しい産業の定着を目指せ

本市は、赤字体質の改善を図り、新しい産業都市を目指している。そのためにも財政の健全化と、九州新幹線・有明海沿岸道路・三池港の三大プロジェクトへの国・県の財政支援及び国の直轄事業の推進が不可欠であり、これらは将来の大牟田を大きく左右するとして、次のような質問があった。

## 財政健全化計画と今後の方向性

**問** 軽自動車税の税率を標準税率に戻す考えがあるか。

**答** 八年連続の赤字という異常な状態であり、市民の不安の声も聞く。こうした不安の解消と将来への展望のためにも財政健全化計画を推進し、二十三年度には実質収支を黒字化したい。

しかし、これだけでなく地域自治のスタートラインに立てるのであり、住民ニーズにこたえ得る体力と将来のまちづくり展開への力をつけて初めて、他都市と肩を並べることができる。

こうした状況になった際には、一層の住民サービスの実施を行うか税率改定を行うか、そのときの本市の状況等で決めるべきと思う。

**問** 各部署間の職員の適正配置について考えはどうか。

**答** 本年度は、各部署の配置職員数を設定した事務事業見直しを推進している。

今後、都市規模や政策に連動した機能的な組織運営と不断の定員管理のもと、適正職員数の把握に努め、職員配置適正化方針に掲げる目標数値の達成を図り、少数精鋭体制を確立したい。



有明海沿岸道路

## 三大プロジェクトと中心市街地の活性化

**問** 三大プロジェクトの進捗状況と今後の事業推進に対する考えを聞きたい。

**答** 有明海沿岸道路については、矢部川大橋区間の開通で物流機能等の利便性が向上し、国道を中心とした交通混雑も緩和している。現在、二十三年度内の供用

に向け三池港インターから大牟田インター区間が整備されており、諏訪川橋梁は二十二年完成予定である。九州新幹線については、新大牟田駅、保守基地を含む整備が本年度で完了し、来年度には、試験走行も予定されている。なお、新大牟田駅周辺地区整備事業では、区域内の幹線道路である新大牟田駅前線や区画道路・宅地造成・調整池等の整備や建物移転に着手し、開業までに駅前広場、駐車場等の駅関連施設整備に取り組んでいる。

三池港については、県事業による臨港道路の整備を初め、公共埠頭及び航路照明の整備や多目的クレーンの設置が行われ、今後、小型船だまり等の整備が予定されている。また、国直轄事業による航路しゅんせつ工事が開始されたが、しゅんせつ土砂の管理場から数百メートルの場所より出水し、工事は一時中断している。このため、国では技術検討委員会を設置し、原因究明と工法の検討を行っている。今後も航路事業に係る諸問題の早期解決と円滑な事業推進のため、国・県との連絡を密にしたい。

## 大牟田市の食育推進

**問** 食育推進計画の目的と達成目標について聞きたい。

**答** 食育は、様々な視点の取り組みが重要であり、食材への関心、食の生産から調理や食事、リサイクルなど、食に関する継続的かつ一貫性を持った考えや取り組みを多くの市民が意識し、体験することが必要である。現在策定中の推進計画にこの考えを踏まえた食育推進の目的を掲げるとともに、各施策や数値目標も盛り込みたいと思う。